

1 日時 令和6年 2月22日(木) 14:00~16:00

2 会場 石見養護学校 会議室

3 次第

<はじめに>

<議 事>

① 石見養護学校グランドデザイン評価についての審議

○ 今年度重点目標「伝え合う(コミュニケーション力)」「研修による専門性の向上」「発信」について、各学部等の活動報告や自己評価を説明

・コミュニケーション「伝え合う」について、伝えたり相手の意見を聞いてみたり、ツールはいろいろだが、一方的ではなく返すというやり取りを意識した活動が各所でみられる。コミュカは日々の積み重ねなので、今後も続けてほしい。

・情報発信について、前年度に比べかなり伸びていてすごい。発信するまでに手間がかかるが工夫しておられることがあるか。〔→行事の担当に負担にならないように、文章は短くていいので子どもたちの様子が分かるように写真をつけてと伝えている。〕

・子どもが卒業すると、ホームページを見る機会がすごく減る。新規の方を増やす手立ても必要。旧職員から広めるなど。

・取組の中で、相手の気持ちをくみ取ることが難しいとあるが、伝えることは言葉以外でもできるが、くみ取るのは難しいことだ。今後も力を入れて取り組んでほしい。

・見ていておもしろいホームページは、お知らせよりあったことの報告である。広がりもあり、かかわる方も多くなっているのでは。その方に宣伝をしておき、見てもらうようにしてはどうか。

・「伝える」「伝わる」「受け止める」伝えることをあきらめないで、力を伸ばしていけるとよい。

○ 地域連携について取組報告と評価の説明

・子どもたちが活動をしてどのように感じたのか、どのようにかかわったのかもわかるとよい。

・具体的に分かれれば、地域の中でかかわりのある方なら、直接働きかけることもできる。委員として、よりかかわる人を増やせたり、広げたりできるので知らせてほしい。

・活動の体験がその後に大いに影響を与える。

・生徒の皆さんの活動を見ることは、地域の人々の活力にもなる。受け入れ態勢もとるので、ぜひ地域にかかわってほしい。

・地域に出る機会は増えている。子どもがどうなったから地域の方がどう感じられたかの確認が必要。1年の中で、いろいろな人とかかわる方がいいのか、ある程度決まった人と繰り返しかかわる方がいいか、コーディネートで悩むところ。

○ センターの機能の役割についての報告と評価の説明

・コーディネーターの複数配置はぜひ継続してほしい。各町で継続してかかわってほしい事例もあり、石見養護を頼りにしている。

○ その他、進路状況の報告等

・一人一人への個別の支援が手厚く、状況に合わせて支援ができる学校である。地域とのふれあいも大事にする学校であり、地域への発信に力を入れており、特別ではなく地域の中で育ててもらっている良さがある。

・今回、評価が高く、いい取組だったと思う。来年度、維持しようとする想定外のストレスが加わることがある。潤いの空間、癒しのある学校運営を心がけてもらいたい。

② 評価の承認 拍手多数で承認

<おわりに>